



福山市東深津町
農事組合
代表 栗原 勝さん (78歳)

農業継続に不可欠の保険

【農機具共済】

親の代、1975年ころに、近所の8人で農機具を持ち寄り、「農事組合」として共同で管理・作業を始めました。現在は、5人で福山市内の知人の水稲約3畝の農作業を受託しています。

昨年10月、稲刈りに出向き、圃場に入る際にアルミブリッジのバランスが崩れ、コンバインが前のめりに転覆。幸い、オペレーターにけがは無かったものの、コンバイン前部がつぶれ、修理不能になりました。

農機具共済の共済金で、以前の型とほぼ同じ新しいコンバインを購入することができました。買い替えには高額な資金が必要になるので、農機具共済に加入していなかったら、農業を諦めなければならなかったところでした。

10年くらい前に、他の地区で農作業受託をする人に「こういう仕事をするなら、農機具に保険をかけておいた方がいい」と勧められ、農機具共済に加入しました。

構成員は60代70代と高齢になってきました。これからも農業を続けるためにも、加入していて本当に良かったと思います。

▷コンバイン1台、トラクター1台、田植機1台、米選機1台、粃すり機1台、乾燥機3台など

(農業共済新聞 中国版 2021年4月4週号より)